

令和元年度 学校研究

【研究テーマ】

新学習指導要領を踏まえた授業づくりー単元展開案の活用(2年次)

平成29年4月に新しい特別支援学校小学部・中学部学習指導要領が公示され、続いて平成30年2月には特別支援学校高等部学習指導要領が公示されました。内容において全学部で共通していることは、知的障がいのある児童生徒の教科指導の充実が挙げられています。そこで本校では、昨年度より2年計画で学校研究を進めています。研究テーマを「新学習指導要領を踏まえた授業づくりー単元展開案の活用ー」として単元展開案を作成し各教科等を合わせた指導の授業を実践することを通して、新学習指導要領で示されている各教科の目標・内容、学習評価の3観点への理解を深めたり、課題を整理したりしています。また今年度は、国語・数学(算数)を中心として学びの履歴シートを活用し、児童生徒の学習習熟度を確認した上で、授業内容が児童生徒に即しているか、児童生徒が授業を通じて、「何を」「どのように学ぶか」といった適切な指導のあり方を研究推進していきます。

研究方法 -2年次-

(1)小・中・高、各学部において研究グループを編成。小中学部は生活単元学習で、高等部は作業学習で授業を計画。

(2)学びの履歴シートを活用し、児童生徒の現在の学習習熟度を確認。

(3)研究グループにおいて授業の構想協議→単元展開案の作成→授業の実施→事後検討会→授業の改善

令和元年度研修部主催各講演会の実施について

令和元年度特別支援学校教科充実事業講演会

実施日:令和元年9月9日(月)

講師:国立大学法人弘前大学大学院教育学研究科 教授
菊池 一文 氏

講師に菊池一文先生を招聘し、「主体的・対話的で深い学びとカリキュラム・マネジメント」の題で講演会を実施しました。新学習指導要領改訂のポイントや知的障がい特別支援学校における児童生徒一人一人のキャリア発達を踏まえた教科指導の在り方、考え方等他校の実践例も交えてご講演いただきました。今回の講演会を終えて、今後の本校の学校研究に生かしていけるようにしたいと思います。



令和元年度特別支援教育センターの教育研究に係る学校訪問(第2回)

実施日:令和元年9月20日(月)

指導助言者:特別支援教育センター 指導主事 小暮創史 氏

特別支援教育センター指導主事小暮創史先生が学校訪問に来られ、本校の研究テーマ「新学習指導要領を踏まえた授業づくり～単元展開案の活用～」の題で本校の研究の進め方、普段の教材研究の在り方等、ご指導いただきました。今後も特別支援教育センターと連携しながら、よりよい校内研究になるように進めていきたいと思っています。